

郷土芸能を世界に発信！オリンピックを見据えた「東北と世界を結ぶ祭博」へ助成 ～東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド「GBFund」 第11回助成活動を決定～

公益社団法人企業メセナ協議会(理事長:尾崎元規 [花王株式会社 顧問、東京都港区芝 5-3-2])は、このたび「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド:GBFund」の第11回助成選考委員会を行い、新たに12件を採択しました(一覧は次頁に掲載)。このうち、祭りや郷土芸能を支援する「百祭復興プロジェクト」(以下、百祭復興)枠では6件を採択。今回の助成総額は426万円で、2011年3月23日のGBFund開設以来の助成総件数は224件、助成総額は1億1,715万8,860円となりました。

国際的な交流へと展開

震災後に始まった文化活動が4年目にさしかかる時期に、国際的な展開を見せています。

●岩手県大船渡市盛町の大船渡復興まつり実行委員会は、震災直後に活力と元気を取り戻すため、東北6県から著名な祭りを招へいし、大船渡復興祭りを開始。2015年には、郷土芸能の価値を世界に発信し、国際交流を促す「東北と世界を結ぶ祭博2015」を企画しています。

●宮城県仙台市の日本の物語制作委員会は、2011年より復興を祈念して公演を行ってきました。このたび、これまで多大な支援を寄せてくれた台湾に音楽劇の共同制作をもって感謝を伝える返礼公演を実現します。

災害大国日本、継続的な支援と情報発信

阪神・淡路大震災を経験した神戸や東京においても継続的で発信力の高い支援が行われています。

●兵庫県神戸市からは、阪神・淡路大震災から復興のシンボルとしてスティールパンの演奏活動を継続しているアスタ新長田スティールパン振興会によるコンサート。2006年の新潟中越大地震やハイチ大震災、そして東日本大震災と継続した災害支援活動を行っており、被災地を思う心意気が伝わってきます。

●東京都からは、2011年9月より人と人の心をつなぐコミュニティ新聞「わわ新聞」の隔月発行を、被災地3県で続けているコマンドNによる「3.11映画祭」の開催。被災地に寄り添いながら地道に積み重ねてきた支援活動が、映画祭という形で首都圏の人々にいまの状況を伝えています。

依然要望が絶えない道具の修繕や補充

地域コミュニティ再生に大きな役割を果たす郷土芸能は、人々の心の拠りどころであり、復興の象徴的な存在。震災前と同様の年中行事は住民の安心感にもつながっています。福島県いわき市では「下大越獅子祭保存会」と「沼ノ内地区」、岩手県は大槌町の「雁道舞七福神会」、大船渡市末崎町の「門中組振興会」より、祭りに欠かせない道具や装束の修繕・補充の要望がありました。また、震災前よりガムランに力を入れていた気仙沼市では、東京都のガムランチームによる楽器の修復が行われます。

地域再生のシンボルに昔ながらの芸能を

土地の宅地造成盛土や高台移転、復興住宅建設などの対応策が大幅に遅れていることが懸念されており、文化においてもハード面の復興が少なからぬ影響を及ぼしています。13世帯のうち11世帯が津波の被害にあった岩手県石巻市竹浜地区。2015年に高台移転による復興住宅建設の目処がたち、5世帯が戻ってくることになりました。これを機に、地区の郷土芸能である「獅子風流」の復活が決定。竹浜地区再生のシンボルに住民が選んだのは、昔より受け継がれてきた獅子風流です。

GBFundは皆様からのご寄付によって成り立っています。まだ支援を必要としている被災地の現状を世界中の方々に知っていただけるよう、ぜひGBFundをご紹介くださいますようお願いいたします。

東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド「GBFund」 活動状況

[2014年12月9日現在] 寄付総額 134,061,664円、助成総額 121,418,860円、助成活動件数 224件

GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)助成活動一覧【第11回】

活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
つなぐ神戸⇄東北 ともががんばろう！スティールパンコンサート アスタ新長田スティールパン振興会 FANTASTICS(兵庫県) 2015年3月20日～2015年3月23日 宮城県気仙沼市復興市場さかなの家、宮城県名取市復興市場ゆりあげ港朝市、東松島市内災害公営住宅集会所、山元長町中央公民館(宮城県)	阪神・淡路大震災後に発足し、復興の象徴としてスティールパンによる演奏活動を続けている団体。2013年には同じ被災地からのエールとして演奏会を行った。今回のコンサートは被災者をメンバーに含む現地のバンド「バンダフル」と合同で行い、被災地間の継続的な交流の促進をはかる。
「陸前高田学校」～被災地の文化・記憶遺産継承のための人材育成事業 文化財保存支援機構(東京都) 2015年4月1日～2016年3月31日 陸前高田市立博物館、岩手県立博物館(岩手県)	多くの文化財が被災していながら人材不足で処置の手が回らない現状を解決するため、被災地域の文化財保存従事者などを対象に、被災資料の危機管理を学ぶセミナーを開講。実習では応急処置、塩害除去、修復の方法を学ぶ。文化財レスキューに必要な知識と技術を持つ専門家の輩出と、人材ネットワークの構築を目指す。
下大越獅子祭保存会 下大越獅子祭保存会(福島県) 2015年9月21日～2015年9月21日 諏訪神社、白山神社、白山神社社務所、区長宅、安祥院境内(福島県)	下大越地区の諏訪神社例大祭では、江戸中期より五穀豊穡・無病息災・村内安息・家内安全を祈願して「暴れ三匹獅子舞」と「棒使い」が奉納されてきた。担い手である青年会の人数減少を解消するため保存会を設立したが、再スタートをきった矢先に震災があり、継続困難な状況となっている。今後は祭りと体制の充実を図り、地域の心のネットワークを構築できるような運営を目指す。
気仙沼ガムラン応援プロジェクト スカル・ジュブン(東京都) 2014年11月29日～2015年8月1日 気仙沼市内(宮城県)	気仙沼では商工会議所青年部が中心となり、まちの活性化事業の一環としてバリ島の音楽ガムランを取り入れ、夏まつりで子どもたちが演奏を披露していたが、津波による浸水で楽器が傷み、使用できなくなった。ガムランの演奏活動を行う「スカル・ジュブン」メンバーが現地へ赴き、商工会議所と協力して修復をおこなう。今回は楽器10台の修復を行い、その後、夏まつりで子どもガムラン演奏の復活を目指す。
ITPいわき演劇プロジェクト俳優養成塾 ITPいわき演劇プロジェクト(福島県) 2014年11月22日～2015年5月17日 ワークショップ:いわき市文化センター/公演:いわきアリオス(福島県)	いわき市出身の演出家・高木達を講師に俳優養成ワークショップを行い、成果発表として公演を行う。キャスト、スタッフは未経験者も対象に一般公募する。震災を境に県外への自主避難などで地元の演劇人口が減少したことから、いわきのアマチュア演劇界の再興の足掛かりとする。
太鼓と絆纏不足分などの購入 雁舞道七福神会(岩手県) 2015年1月4日～2015年8月31日 雁舞道七福神会会館(岩手県)	大槌町雁舞道地区に伝わる郷土芸能で、毎年9月の秋祭り他で子どもたちが七福神に扮し舞を披露する。震災後、冠水した太鼓を応急処置しながら使用してきたが、傷みが進み音に響きがなくなってしまった。そのほか祭りの必需品である絆纏、のぼり、酒袋の不足分を新調する。
東北と世界を結ぶ祭博2015 大船渡復興まつり実行委員会(岩手県) 2015年9月4日～2015年9月27日 前夜祭・市民報告会:大船渡市カメラホール、本祭: 大船渡市盛町前国道45線(岩手県)	東北6県から全国的に著名な祭りを招へいし、市民に大きな活力と勇気を与える「大船渡復興・東北三大まつり」を2011年9月から毎年実施。2015年は東北の郷土芸能を文化的観光資源としてとらえ、国際交流を含んだ発信を企画し、若者の地域離れや経済の衰退、住居不足などの地域課題解決につなげていく。復興に向け、東京オリンピック開催年には集客目標20万人を目指す。



活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
虎舞幕制作事業 門中組振興会(岩手県) 2015年4月25日～2015年7月25日 染工場(岩手県大船渡市)	泊里地区の中森熊野神社には、鎌倉時代に伝わったといわれる獅子頭があり、祭礼において獅子舞を奉納することで豊作・豊漁が成就すると考えられていた。以来、その獅子頭の型を取り、名前を虎舞に改め現在に受け継がれている。今回はすりきれた虎舞幕を新調し、各公演の出演を積極的に行いながら後継者育成を図り、将来的には全国虎舞フェスティバル開催を目指す。
返礼公演 for 台湾『星空のコンチェルティーノお琴』 日本の物語制作委員会(宮城県) 2015年1月31日～2015年1月31日 台湾国 国立国府記念館(台北市)	震災の際、台湾は物心両面で多大な支援を寄せてくれたが、日本と正式な国交がないため公式の返戻が難しい。そこで芸術文化を通して感謝の心を伝えるべく、台湾のエヴァグリーン交響楽団と音楽劇を共同制作し、台湾にて公演をおこなう。
第2回 3.11映画祭 一般社団法人非営利芸術活動団体コマンド N(東京都) 2015年2月21日～2015年3月15日 3331Arts Chiyoda(東京都)	コマンド N が実施している震災復興支援の「わわプロジェクト」では、毎年3月に震災をテーマにしたイベントを開催してきた。2011年～2013年は展覧会、2014年から映画祭を実施。震災関連の映画製作が、近年、圧倒的に増えているなかで、伝わり方がダイレクトな映画(映像)でしか伝えられないものを強く感じ、映画祭という形式で首都圏において発信する。
沼ノ内子供獅子舞 沼ノ内区(福島県) 毎年8月下旬 沼ノ内区内全域(福島県)	400年続く子ども3匹獅子舞。1年目に牝獅子(小学5年生)、2年目に中獅子(小学6年生)、最後に牡獅子(中学1年生)で卒業。地区の人々が子供たちを見守るという循環が諏訪神社例大祭を中心に行われてきた。震災により獅子頭が破損したため、その修繕を行い、震災前と変わらず子どもたちの健全な育成と、家内安全・大漁満足・五穀豊穡を祈願する。
牡鹿半島・竹浜地区の獅子風流復活事業 MATSURI de Merci 実行委員会(宮城県) 2014年12月～2016年1月 石巻市竹浜地区(宮城県)	石巻市竹浜地区では毎年正月に獅子風流が各家々をまわり「悪魔祓い」をする伝統があったが、震災により獅子頭が大きく破損。また、地区13世帯のうち住居が残ったのは2世帯で、住民は分断された。2015年、復興住宅建設の目途がたち5世帯が地区に戻ってくることから、獅子頭を修復し、2016年正月の獅子風流復活を目指す。

 ※百祭復興プロジェクト枠採択活動

■GBFund(東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド)

GBFund(ジービーファンド、G:芸術、B:文化、F:復興/ファンド)は、2011年3月23日に企業メセナ協議会が立ち上げた芸術・文化による復興支援ファンド。趣旨に賛同くださった寄付者とともに、設立より5年間、被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動や、被災地の有形無形の文化資源を再生する活動を支援する。次回選考(第12回)は2015年5月を予定。

■百祭復興プロジェクト

百祭復興(ひやくさいふっこう)プロジェクトは、GBFundのなかで郷土芸能や祭りを重点支援する目的で2012年3月に設置された助成枠。

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長:高嶋達佳([株]電通会長)、理事長:尾崎元規(花王[株]顧問)。会員172社・団体/14名(2014年12月2日現在)。

【本件に関するお問合せ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報担当:坂本 GBFund 担当:佐藤・伊藤
 〒108-0014 港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8階 TEL:03-5439-4520 FAX:03-5439-4521
 URL:www.mecenat.or.jp/gbfund/ E-mail: mecenat@mecenat.or.jp